

繰返し求めた「市電乗務員の正規職員化」、来年 4 月実施へ 運行の安全性向上をめざし、乗務員の意識向上・人材の定着と確保・技術継承を図ります

7 月 15 日の記者会見で、市長が表明

7 月 15 日の定例記者会見で市長は、「乗務員の処遇改善」は安全運行の根幹を支える重要かつ喫緊な課題であることから、市電再生への第 1 歩として、2026 年 4 月から上下分離移行までの間、乗務員を交通局の正規職員として雇用する方針にしたことを公表しました。

市長「『乗務員の処遇改善』は安全運行の根幹」

市長は、「乗務員の正規化による雇用環境の安定化は、乗務員の意識向上をはじめ、人材の定着・確保による労働環境の改善、技術継承に繋がり、運行の安全性向上が図られる。運転士不足解消によるダイヤ改善など、利

日本共産党市議団は、100% 非正規雇用の乗務員になる前から、「このままでは、将来すべて非正規の運転士になる」と指摘し、正規職員の雇用を一貫して求めてきました。相次ぐ事故がきっかけとはなりましたが、職員の非正規化が指摘され、実現したことは大きな前進です。

用者の利便性向上も期待できる」と述べました。

今後は、新たなキャリアアップ制度導入や勤務体系見直しなどで、職員のモチベーションや責任感を高める取り組みも検討されていきます。

運転士・車掌などの乗務員を対象に、公募で試験を実施

現在、市電の乗務員は 102 人です。うち、1 名が退職後の再任用職員で、101 人が非正規雇用の会計年度任用職員です。

市長は記者会見で、「全員を正規職員とした場合、約 3,000 万円の費用が必要。一般財源の補填も含めて検討する。9 月議会

に定数改正条例（案）を提案する予定」と述べました。詳細は、今後の市議会・地域交公共交通特別委員会で審議されます。

【市電乗務員の内訳】

運転士：会計年度任用職員	91 人
再任用職員	1 人
車掌：会計年度任用職員	10 人
合計	102 人

【控室から】 参議選の結果について

いせり栄次

7 月 20 日に参議院選挙が投開票され、日本共産党は残念ながら改選 7 議席から 3 議席に後退となりました。選挙全体の結果は、自・公を昨年の衆院選につづき、参院でも少数に追い込んだことは、日本の政治にとって大きな前向きの変化だと思います。

市民と野党の共闘の新たな発展をめざし、熊本でも選挙区で一本化し、熊本におけるオール自民党の壁に風穴を開けるべく奮闘、競り合いにまで持ち込むことが出来ました。

一方、自民党の補完勢力や、外国人への差別を売り物にする排外主義・極右的潮流が議席と得票を伸長させるという結果となったことは、きわめて危険な動きと言えます。排外主義の潮流が台頭する原因は、くらしの深刻な困難と政治への閉そく感があります。

日本の政治はいま歴史的岐路にあり、政治の大きな激動が予想されます。人間の平等、人権と民主主義を守りぬく立場から巻き返しを来し頑張ります。



上野みえこ
(中央区)



いせり栄次
(東区)

日本共産党
熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町 1-1
発行：日本共産党熊本市議団

NO. 1420
2025 年 7 月 27 日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団

検索

政治倫理審査会で事案受理が確認

政治倫理署名有効数5795人 法定数(3019 人)を突破！

市長の政治資金管理団体への献金やパーティー券収入の記載あやまりが、熊本市政治倫理条例に違反する疑い

政治倫理審査会での市長の調査は初めて

7 月 1 8 日に政治倫理審査会が開かれ、申請された案件が政治倫理条例の要件を満たしているか確認されました。

調査請求の要件（文字数等）が条例を満たしているか。署名数が法定数を満たしているかが審議され、どちらも満たしていることが確認され、次回から実質的な調査にはいることになりました。

必要となる署名数	
(有権者の 1/200) = 3 0 1 9 人	
・有効署名数	5 7 9 5 人
・無効署名数	2 9 7 人
・署名確認数	6 0 9 2 人
無効の内訳	
・選挙人名簿に登録がない	6 0 人
・重複署名	8 8 人
・押印不備	1 2 1 人
・その他	2 8 人

政治倫理違反の調査請求のポイント

熊本市政治倫理条例第 6 条第 1 項の規定に基づき調査請求が、違反の根拠となる証拠を添えて提出されました。

調査の対象者は
大西一史市長

- <違反の内容>
- ① 公共事業の発注事業者の役員から市長の資金管理団体へ毎年寄付がある。
 - ② 政治資金報告書のパーティー券収入の報告に誤りがある。

政治倫理審査会の次回開催日

- ・日時:8月27日(水)午後（時間と場所は未定）
- ・請求代表者からの意見陳述が予定されています。
- ・委員会は公開です。誰でも傍聴できます。

(熊本市政治倫理審査会委員)		
区分	氏名	所属・役職等
会 長	鈴木 桂樹	(熊本大学名誉教授)
副会長	向井 洋子	(熊本学園大学社会福祉学部教授)
委 員	川内 恵里	(熊本市人事委員会委員)
委 員	関 智弘	(熊本県立大学総合管理学部准教授)
委 員	西村 まりこ	(熊本商工会議所副会頭)
委 員	野田 幸孝	(元熊本市人権擁護委員)
委 員	宮園 由紀代	(熊本消費者協会理事)
委 員	森 徳和	(元熊本市教育委員会委員)
委 員	吉見 仁宏	(弁護士)
委 員	岩下 芳乃	(弁護士)
委 員	藤本 雅士	(熊本日日新聞社監査役)